

超高齢化社会の到来

高まる介護需要と人材不足。 高い離職率の実態。介護業界が直面する課題とは。

世界最高の高齢化率である日本。2025年には55万人の介護人材確保が必要

内閣府が発表している「平成30年度高齢社会白書」によると、日本の65歳以上の人口は3,515万人に上り、総人口に占める高齢者の割合（＝高齢化率）は、約3割（27.7%）に上ります。日本の高齢化率は世界最高であり、介護サービスを担う人材の不足が社会問題になっています。

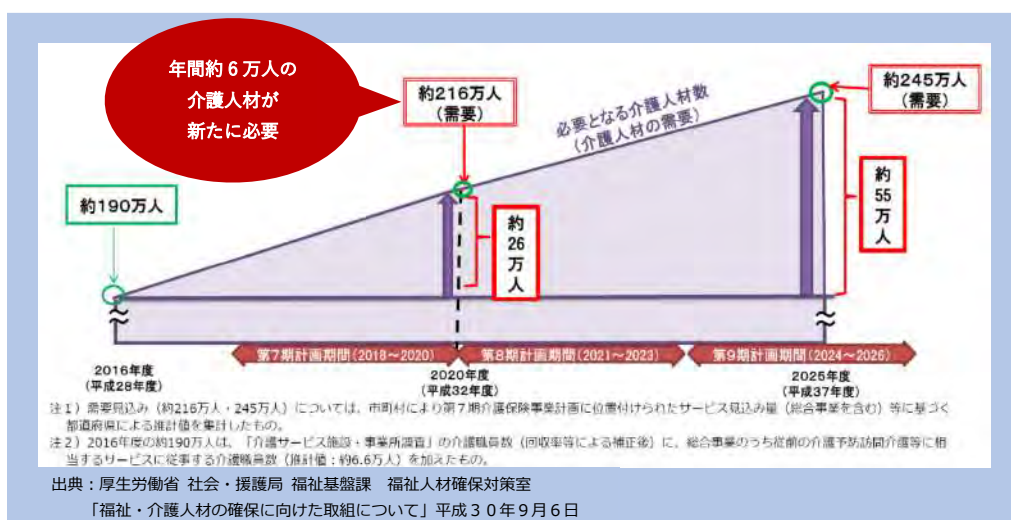
2018年の厚労省の統計によると、2025年度には約55万人の介護人材の確保が必要とされています（厚生労働省「第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について（2018年5月21日）」）。

2000年4月に「自立支援」を基本理念とする介護保険制度が始まり、利用者や家族が必要な介護サービスを選べるようになりました。そのため、介護事業者には継続的なサービス向上が求められるようになり、介護サービスは拡大・充実していています。

介護サービスを担う人材は、介護保険制度開始時の54.9万人から約3倍の183.3万人に増加しているものの、需要にまだ追いついていないのが現状です。

介護人材の確保のためには、新卒学生やハローワーク、福祉人材センター、民間の人材会社などを通じて新たに入職してくる方、つまり介護業界未経験者の確保とともに、就業者の他産業への流出を防ぎ、介護業界に定着してもらう取り組みが必要です。

未経験者の定着においては、職場の新規入職者のマッチングを高めるほか、入職者に対する専門的な知識や、ケア技法の習得などのサポートが重要だとされています。しかし、このような機会が十分でないのが実情です。介護業界における離職率は16.2%と、産業全体の離職率14.9%と比べてやや高い水準になっています（厚生労働省「平成29年雇用動向調査」）。



「長期就業を目指した派遣活用」と「未経験採用」

厳しい業界というイメージは根強い

介護業界は、ネガティブなイメージが先行しがちです。『HELPMAN JAPAN』の「介護職非従事者の意識調査」によると、介護業界に携わっていない人（＝介護職非従事者）が介護職の就業をためらう理由に、「体力的にきつい仕事の多い業界だと思うから」（49.8%）と、「精神的にきつい仕事の多い業界だと思うから」（41.8%）の2つを挙げています。介護保険法施行によって、介護サービスの価値は自立支援と定められたものの、長らく世の中で定着してきた、“介護＝お世話”や“体力的に厳しい仕事”というようなネガティブなイメージは、なかなか簡単には消えることはありません。

しかしながら、介護の仕事の実態を紐解くと、そのようなイメージ通りではないことが分かってきます。介護保険制度が掲げる自立支援とは、利用者の生活の希望を引き出し叶えることです。そのために、介護スタッフは利用者のこれまでの人生や、これからの生活の希望といった情報を収集し、生活の希望を叶えるための介護計画を立案、介護計画に沿った支援を提供しています。そのため、1日の勤務時間に占める業務割合において「日常生活の介助」は全体の仕事の半分程度であり、残りの半分は「事務・施設運営」という調査結果もあります（みずほ情報総研株式会社「地域包括ケアシステムにおける特別養護老人ホームの 実態・役割に関する調査研究事業」）。介護の仕事は、世の中でイメージされている以上に「考える」ことが多い仕事なのです。

実情を知れば魅力に感じる人が増加

同調査において、介護業界の就業意欲がないと回答した非従事者 200 名に、彼らが思っているほど“残業が少ない実態”や、“離職率の低さ”の介護の実態について伝えたと、そのうち、24 人が就業意向ありに変容したことが分かっています。このことから、介護業界の実情を知ることによって、介護業界での就労を魅力的に感じる方が増えることが判明しました。介護業界は、入職前後の育成を前提に未経験者にも門戸を開くことによって人材確保が進む可能性があるのです。リクルートグループでは、介護業界への未経験者の就業を促進する取り組みとして、長期就業を目指した派遣活用（スタッフサービス・メディカル）や、未経験の若者雇用（『HELPMAN JAPAN』×『就職 Shop』）を手掛けています。

未経験者も活躍が期待できる業界

介護職の人材派遣を手掛けるスタッフサービス・メディカルでは、介護業界の未経験者や時短での就業希望者の業界参入と定着を、人材派遣を通して積極的に後押ししています。人材派遣は一時的な人材活用イメージが強いですが、介護業界の人材不足を鑑み、いたずらに人材派遣での就業継続を進めるのではなく、派遣先の介護事業者と連携しながら、派遣スタッフの職場でのフォロー体制の提案や一人ひとりにあった就業条件の設定を積極的におこなっています。ゆくゆくは派遣スタッフが派遣先の介護事業者で直接雇用になることをすすめています。

前出の『HELPMAN JAPAN』の調査によると、「資格の有無にかかわらず、未経験からでもスタートできる職種であること」の認知度は 29.0%と 3 割を下回りますが、実際には前出の通り未経験者が活躍し始めている業界です。株式会社リクルートキャリアにて未経験の若者の就労支援を手掛ける『就職 Shop』は、『HELPMAN JAPAN』と協業し、未経験の若者の介護業界への就労支援に力を入れ始めています。

『就職 Shop』では、2019 年より新たに介護事業所での仕事も就職候補先として求職者に提案するサービスを開始しました。ネガティブなイメージが先行しがちなこの業界の求人を紹介するキャリアコーディネーターは、実際に介護事業所にて仕事の見学や介護における業務内容等の基礎知識を、座学を含めて学んだ特別なコーディネーターなのです。また、求職者は選考に進む、進まないにかかわらず全員が事業所への見学、所長や同僚などと面談を可能にするなど、より就職後の仕事のイメージがつかめるような仕組みにしました。介護の仕事の理解を求職者にも体感・理解いただいた上で選考に進むことで、求職者は就労後の自分の姿をイメージすることができ、意欲的に仕事に取り組むことができます。2019 年に開始したこのサービスでは、開始後 1 年で介護職への就職決定人数の伸長率は 7.5 倍になっています（2019 年 9 月時点）。プロジェクト開始後の入職者の離職率は 5%以下と、他職種で入職をされた方と比較しても低い離職率になっており、取り組みの有効性が確認できています。

業界未経験者の就業ハードルを下げ、 長期就業へと活用目的が変化する人材派遣

介護職の人材派遣を手掛けるスタッフサービス・メディカル（以下、SSM）では、介護業界の未経験者や時短での就業希望者の業界参入と定着を、人材派遣を通して積極的に後押ししています。2018 年からは、SSM を通じて介護業界に長期的に定着する人を「フレンド」(※)と呼び、フレンドを増やし続けることで社会課題に貢献するという理念「&メディカル！」をかかげています。この理念のもとに、介護業界で長期的に就業している人を増やすさまざまな取り組みをおこなっています。

実際に SSM に登録しているスタッフは未経験者が約 6 割、時短希望者が約 4 割です。業界未経験者は、初めての仕事に就くことの不安からきめ細やかな就業フォローが重要であり、時短就業希望者は一人ひとりにあう就業条件と職場とのマッチングが不可欠です。一方、介護事業者においては人材確保と定着難易度に苦心しているものの、人材派遣の活用場面は数か月間から 1 年程度の一時活用にとどまっています。

そこで SSM では、派遣スタッフ、介護事業者が共に介護業界への長期就業のイメージを持てるよう、いたずらに人材派遣での就業継続を進めるのではなく、派遣先の介護事業者と連携しながら、派遣スタッフの職場でのフォロー体制の提案や一人ひとりにあった就業条件の設定を積極的におこなうことで、ゆくゆくは派遣スタッフが派遣先の介護事業者で直接雇用になることをすすめています。

SSM 調べでは SSM を通した、人材派遣で働く人の 1 年後の離職率と派遣就業期間を経て直接雇用での長期就業を希望した人の離職率を比較すると、後者のほうが圧倒的に離職率が低く、人材派遣をきっかけに、直接雇用になることで長期就業につながる事が分かります。

このような成果により介護事業者からは人材派遣を一時的な活用としてとらえるのではなく、長期就業ができる戦力人材を確保するための一つの採用方法として認知され始めています。

※フレンドについて：

スタッフサービス・メディカルで現在就業中の派遣スタッフ、派遣スタッフを経て就業先の職員として直接雇用になられた方、人材紹介、紹介予定派遣を通じて今も継続してご活躍されている方々。2019 年 9 月末時点で 7,257 人となります。

選考前に施設見学可能に 「納得感」を持って介護業界へ入職する若者を支援

介護業界における若者雇用のミスマッチを解消すべく立ち上がったのが、未経験の若者の正社員雇用支援を手掛ける『就職 Shop』と『HELPMAN JAPAN』の共同プロジェクトです。最大の特徴は、①本人の志向や適性の掘り起こしに注力し、②応募意思不問の職場見学の実施が可能、さらに、③書類選考なしで、面接で職場との相性を確認できる点です。『就職 Shop』のキャリアコーディネーターは、面談の中で求職者の「やりたいこと」だけでなく、「できること」や「向いていること」を見極めることに最新の注意を払っています。アルバイト経験、習い事や趣味、挫折経験も含めてヒアリングしながら求職者の適性を見極めます。そこで「手に職をつけたい」「人に寄り添う仕事に向いている」といった志向や特徴を持った若者には、介護の仕事という選択肢も含めて求人のご紹介をしているのです。また、介護の仕事への「5つの誤解」についても、『HELPMAN JAPAN』が持つ豊富な知見やデータを基に、丁寧に説明し誤解をときほぐし、求職者の視野を広げています。

<介護の仕事への「5つの誤解」>

- | | | |
|-------------|---|-----------------------|
| ■ 資格・経験が必要？ | → | 2人に1人が未経験からのスタート |
| ■ 給与が低い？ | → | 他業種に引けをとらない給与や昇格制度 |
| ■ 残業が多い？ | → | 介護サービス業で働く人の約50%が残業ゼロ |
| ■ 肉体労働が中心？ | → | 実は業務の約半数はデスクワーク |
| ■ 離職率が高い？ | → | 約6割の職場が離職率10%未満 |

介護現場の課題解消や働く人のスキル取得をサポート

人材派遣会社初、認知症の高齢者などを対象とするコミュニケーション・ケア技法を学ぶ「ユマニチュード®研修」を導入

スタッフサービス・メディカル（以下、SSM）では、高齢者・認知症の方とのコミュニケーション課題の解決のヒントとされている知覚・感情・言語による包括的コミュニケーション技法「ユマニチュード®」の研修を株式会社エクサウィザーズ（※）と業務連携し、全国で定期開催しています。国内人材派遣会社での取り組みは初めてとなります。より実践的なスキルを身につける研修機会の提供を通して、未経験の方の現場不安を少しでも軽減し、介護現場で働く人のスムーズなケアやコミュニケーションを促しています。

■参考（2018 年度、2019 年度実績）

【受講者人数】194 名 【開催回数】11 回 【受講者の感想】満足度：93.9% 実践度：98.0% 役立ち度：87.7%

※株式会社エクサウィザーズ(本社:東京都港区、代表:石山 洸)は、SAS Humanitude 社(本社:フランス共和国、法定代理人:Yves Gineste/イヴ・ジネスト)と提携し、日本国内で唯一、正規のユマニチュード®研修を企画・運営しています。<https://www.staffservice-medical.jp/humanitude.html>



ユマニチュード®研修の様子

介護未経験者のスキル取得をサポート。実務に必要な資格取得にかかる費用を全額補助

SSM では、派遣スタッフのうち約 6 割が介護業界未経験者で構成されています。

そこで介護の基礎的な知識や技術を習得してもらおうと 2018 年より派遣スタッフに対して「介護職員初任者研修」取得費用にかかる費用について、従来の一部負担制度から全額補助へ拡充しました。また「実務者研修」「介護福祉士」（※）の取得費用についても同様に全額補助をおこなっています。

※「実務者研修」「介護福祉士」は、常用型派遣スタッフのみ対象

資格取得を通して介護の基礎を学ぶことができるため、未経験者でも自信を持って介護業務に就くきっかけとなっています。

【参考】資格取得延べ人数（2018 年度、2019 年度 1 月時点実績）

介護職員初任者研修：104 名 実務者研修：21 名 介護福祉士：23 名

一人でも多くの人が介護業界でイキイキと活躍できる世界を！ モチベーションアップに着目した階層別支援研修を展開

『HELPMAN JAPAN』では、階層別に介護職員の離職防止、モチベーションアップ、視座の変化に着目した研修プログラムを提供し、介護職員の働く意欲の向上、仕事に対する取り組み姿勢の変化を目指しています。また、同期同士の横のつながりを築くことが離職防止の一助となることから、介護業界同年次かつ普段は関わることがない他法人の職員同士が「同期」を作れる場としても研修をご活用いただいています。特に業界経験1年未満の介護職員を対象にした「CHEER UP!」研修では、参加した200名のうち97%が1年間職場に定着するという結果が出ており、介護業界で働く方々に寄り添う研修を提供しています(2015年度実施アンケート)。

介護の仕事に対する意識を変える、介護職員向け定着支援研修 キャリア・役職にあわせたきめ細やかな研修で人材定着を実現

介護職員がイキイキと働く現場で活躍できるよう、介護業界各階層の課題にあわせて、「新人介護職員向け」、「中堅介護職員向け」、「リーダー介護職員向け」、「管理者・施設長向け」の4段階の研修を提供しています。同じ課題を抱える同期と共に、不安を解消し、次に向けてステップアップするための機会として、300社以上の介護事業所にご利用いただいています。

スキルとモチベーション両面からサポート SOMPO ケアと共同で研修を提供

『HELPMAN JAPAN』の「介護サービスで働く人の満足度調査」(2018)で、「技術・スキル研修」と、モチベーション研修など「技術・スキル以外の研修」の両方を受講した職員の継続意向が高くなることが判明しています。それを受け、『HELPMAN JAPAN』は、介護業界最大手で業界最大級の研修センターを保有するSOMPO ケア株式会社様と協働し、職場で働く意欲を継続するための「モチベーション」をフォローしつつ、根拠に基づいて学ぶことで自己流になりがちな「技術(スキル)」をフォローできる研修プログラム、「CHEER UP! Advance」研修を2019年2月にリリースしました。離職防止に加え、働く意欲の向上、業界内での横のつながりの醸成によりメンタル面、技術面の両面から介護職員として働くことへの自信につながったという声を多数いただいています。

参加者の声：

「心が折れそうになっていましたが、自分の気持ちを振り返ることで、モチベーションが上がり、また明日から職場で頑張れそうです。」「業界内の他法人との意見交換を通じて、自法人・自施設の良さを再確認できました。」

事例のご紹介 フレンドの声、介護事業者の声

スタッフサービス・メディカル：事例のご紹介

●土屋 衣里さん

（元スタッフサービス・メディカル派遣スタッフ）

派遣期間：2019年3月～9月 直接雇用：2019年10月～現在



医療事務からのキャリアチェンジ。人の役に立てる喜びを感じています

この仕事に就く前はスタッフサービスの派遣として病院の医療事務で働いていました。しかし、だんだんと目の前にいる人の困りごとを直接解決できないもどかしさを感じるようになり、そこで人の生活に一番身近な介護職に挑戦してみようと思いました。スタッフサービスの担当者から、未経験でも働ける職場があるとうかがっていたのも後押しになりましたね。

まずは介護の基本的な知識が必要だと考え、平日は医療事務で働きながら、土日に介護職員初任者研修を受けることにしました。

研修修了後、自力で介護職の仕事を探してみましたが、経験者優遇の求人が多く、まったくの未経験の私は、エントリーに躊躇してしまいました。そこでスタッフサービスの担当者に連絡を取り、未経験の私でも就業できそうな介護施設を紹介してもらいました。それが今働いているときわ園です。

派遣は求人票にはのっていない職場風土を就業前に確認できたり、就業後も就業先と自分のことをよく知っている担当者に何でも相談できるので、安心感がありました。

就業後は一週間の職場での研修を経て、実務を覚えていきました。分からない点はノートに整理し、積極的に先輩に質問したり真似したり、家に帰ってからも復習をおこないました。

介護職員初任者研修を事前に受けていたので、そのときの知識もとても役立ちました。

正直、介護職に就く前は過酷なイメージがあり、転職を相談した際には周りから心配されることもありましたが、実際に就いてみると大変さよりもやりがいを感じています。家族のようにあたたかい職場の先輩方のサポートも働きがいにつながっています。人の役に立ちたいと思い切って飛び込んだ介護業界ですが、利用者さんの「ありがとう」「あなたがいてよかった」の一言は大きな糧になります。

派遣で働いて約半年がたったころ、直接雇用のお話をいただきました。こんな私でも求めてくれる職場があるから挑戦したいと正職員で働くことに決め、今では夜勤など一通りの介護の仕事を担当できるようになりました。今の目標は介護福祉士の資格を取ること。現場で働くことがとても楽しいです。これからも長く介護業界で働いていきたいと思っています。

●社会福祉法人常盤会 特別養護老人ホーム ときわ園様
事務長 石本 春樹様

職員同士が尊重しあう風土を醸成。異業界・職種出身者など、多様な人材を生かす

職場環境の改善に取り組み始めたのは約7年前から。

当時は職員同士のコミュニケーションが不足から信頼関係が生まれず、暗い雰囲気でした。このままでは良い介護サービスの提供はもちろん、人材定着にも結びつかないと危機感を覚え、職員同士が尊敬しあえる風土醸成に取り組みました。

採用面接では、業界経験だけでなく人柄やこれまでに就いてこられた職業などのバックグラウンド、対人コミュニケーション能力、私たちの理念に共感できるかなどに注目しています。たとえ介護業界が未経験であっても理念に共感でき、人と接することに喜びを感じられる方であれば採用する場面も増えました。

一方で、介護職は専門知識を基にした現場経験がものを言う仕事ですし、ケアする人への十分な理解が良いサービスの基本です。そのため未経験の方を採用した場合、1週間程度、介護知識を学ぶ機会を設けています。一定の基礎を担保することで、介護周辺業務にすぐに着手できますし、先輩社員とのコミュニケーションも入職直後から円滑になります。

また障がい者雇用にも積極的です。ダイバーシティを加速させることで、誰かが誰かに目配せすることが当たり前になり、職員同士がお互いを理解し尊重しあう場面が増えてきました。

約1年前からは新たに介護職のプロフェッショナルとして経営と現場の間に立ち、職場環境やサービス改良に取り組んでもらう介護職長というポジションを創設。職場環境の課題を吸い上げやすくしたり、現場での対応力が高まってきています。

これらの結果、2015年度と比較した2018年の法人全体の離職率は半減し、13.95%となりました。これは介護業界全体と比較しても1.45%低い数字です（※：介護労働安定センター「介護労働実態調査」より）。

以前より人材が定着しやすくなりましたが、介護ニーズの高まりから引き続き人材確保は重要です。一般的に良い介護サービスを提供しようと考えたとき、高いスキルの人材をそろえることを第一に考えがちです。しかし、スポーツに例えると、プレイヤーである介護職が力を発揮するには良い監督を連れてくることも重要。当施設では介護職は幅広く採用、監督であるケアマネージャーや看護・リハビリ職、栄養士などの高度な専門性や計画立案力が求められる職種では、一定のスキル要件を設け、バランスをとっています。

人材採用にあたっては人材紹介や派遣会社を活用する場面も多くなっています。

これからさらに需要が増す介護業界では、他業界からの人材流入を増やしていくことも重要になってくるでしょう。その中で、人材派遣会社が業界未経験の派遣スタッフに基礎研修を施してから送り出してくれるのは、とてもありがたいことです。また一定期間の派遣就業期間を経て人材を採用できるのも、早期離職を生まない手段の一つだと感じています。人材会社には、介護現場で必要な視点や業界知識をしっかりと深めていただき、介護の魅力をPRしつつ、異業種から良い人材を集め、介護業界のさらなる発展に貢献していただけたらと思っています。



事例のご紹介

『HELPMAN JAPAN』『就職 Shop』：事例のご紹介①

『就職 Shop』は、『HELPMAN JAPAN』と連携し、選考の有無に関係なく事前に職場見学・同僚や上司との面談ができるようにしている。それにより、求職者がより納得度の高い進路を決定することができる。



●ベストリハ社 丸川 律之さん（24歳）【ご入職年：2019年10月】

Q：未経験で介護の仕事に就職されていますが、就職の決め手を教えてください。

A：職場の雰囲気や休みの制度がしっかりとしているところです。

Q：人材紹介サービスはたくさんありますが、就職 Shop をご利用いただいた理由をお聞かせください。

A：最初に対応していただいた方が良かった点と、お店の中の雰囲気が良かった点です。

Q：選考前に職場見学や同僚との面談が可能でしたが、その点はいかがでしたでしょうか。

選考に進む上で参考になりましたか。

A：複数スタッフの方の話を聞くことができたり、職場見学することができたりと、参考になりました。

Q：現在のお仕事内容を簡単に教えてください。

A：朝夕の利用者様の送迎、リハビリサポート、フロアでご利用者様の見守り、イベントのレクリエーションの企画等をおこなっています。

Q：現在のお仕事のやりがいを教えてください。

A：人と関わる仕事なので、感謝の言葉をいただくとやりがいを感じます。

Q：未経験から介護業界への就職ですが、スキル習得の上で心がけていることはありますか。

A：研修に参加したり、周りのスタッフにどのようにすればいいのか聞くようにするなど、心がけています。

Q：これから挑戦してみたいことを教えてください。

A：まだまだ分からないことが多いので一通りの業務を覚えられるようにしていきたいです。

Q：未経験から介護業界へ就労しようとしている方へメッセージがあればお聞かせください。

A：私自身も、無資格・未経験で介護業界に入りましたが、利用者の方がとても良くしてくださり、また、先輩スタッフや同僚と楽しく過ごすことができています。大変なことは確かにあるかと思いますが、その分楽しく

過ごすこともできるかと思います。「人の為になりたい」、「頑張りたい」と考えている方がいらっしゃいましたら、ぜひ一緒に頑張りましょう！お待ちしております!!

『就職 Shop』：事例のご紹介②

●ベストリハ社 白井 陸さん（22 歳）【ご入職年：2019 年】

Q：未経験で介護の仕事に就職されていますが、就職の決め手を教えてください。

A：「人と直接関わる仕事がしたかった」ことが決め手です。その中でも、特に「人と密接に関われる」ということで、介護業界への就職を決めました。



Q：介護業界のほか、どのような選択肢がありましたか。

A：営業職も検討しており、実際に面接にも行きました。

Q：人材紹介サービスはたくさんありますが、『就職 Shop』をご利用いただいた理由をお聞かせください。

A：インターネットで検索したところ、20 代の就職に特化しているという点が、今の自分にはピッタリだと思い利用させていただきました。

Q：選考前に職場見学や同僚との面談が可能でしたが、その点はいかがでしたでしょうか。選考に進む上で参考になりましたか。

A：まったくの未経験だったため職場見学や同僚との面談は介護業界のイメージをつかむ役に立ち、選考へと進むキッカケになりました。

Q：現在のお仕事内容を簡単に教えてください。

A：主に利用者様のリハビリやレクリエーション、事務作業などをおこなっています。

Q：現在のお仕事のやりがいをお願いします。

A：利用者様やそのご家族様から、直接感謝の言葉をいただけることです。

Q：未経験から介護業界への就職ですが、スキル習得の上で心がけていることはありますか。

A：未経験なので分からなくて当たり前なので、恥ずかしがらずに上司や先輩に聞くことです。

Q：これから挑戦してみたいことを教えてください。

A：まだまだ先の話ですが、実務経験を積み受験資格が得られたら、介護福祉士の試験に挑戦したいと思います。

Q：未経験から介護業界へ就労しようとしている方へメッセージがあればお聞かせください。

A：「キツイ」と言われるこの仕事です。もちろん、大変な部分もありますが、それ以上のやりがいがあるお仕事だと思います。もし少しでも興味があったらぜひ、介護業界への就職を検討してみてください！

『就職 Shop』サービスをご利用の施設様

介護事業所には、「介護の仕事の実態や会社の特徴などの事前情報が細かく伝わっていて、未経験でも選考がスムーズに進む」と一定の評価をいただいている

●ベストリハ株式会社 管理部 人事 小林 美希様

Q：採用についての課題はありますか？どんな方にご入職いただいていますか？

A：介護のお仕事に興味はあるものの、チャレンジできていないという方がいる中で、当社を知っていただくためには、まだまだ当社の認知が足りないというのが課題です。当社では、人と話すことが好きで、人とのつながりを大事にしたいと思っている方、そして多様性を受け入れる方にご入職いただき、活躍していただいております。

Q：『就職 Shop』からの人材受け入れという新しいチャネルを活用されていますが、どうでしょうか。メリットに感じる点、課題に感じる点がありましたら教えてください。

A：『就職 Shop』様で介護の仕事の良さ、当社の特徴をお伝えしていただいた上で、選考に進んでくださることがメリットだと考えております。事前情報が入っていることによって、面接時のお話もスムーズに進めることができいております。

Q：未経験者でのご入職になりますが、未経験の方でも活躍できるポイントは何でしょうか？

A：ご入職した方への教育制度が整っており、また、入職後のキャリアパスも多彩なため、介護業界未経験の方でも安心して長く働くことができるところがポイントです。

Q：未経験者のケアはどのように実施されていますか。

A：月に1回の上司との面談の時間があり、仕事を進める上で不明確なこと、不安なことを払しょくすることができます。また、スキルアップ研修やリスク管理研修もあるため、その方が苦手な介助方法について学ぶ場があることは特徴だと感じています。

Q：一番の定着のポイントは何でしょうか。

A：「挑戦しやすい社風」です。会社全体だけでなく、個人のチャレンジを応援する社風であることだと思います。

高校生アルバイトの新たな選択肢「ケアサポーター」という職種を新設！ 介護のミライ～高校生バイトプロジェクト～始動

リクルートジョブズでは、介護事業大手の株式会社ツクイ様と協働で、「介護のミライ～高校生バイトプロジェクト～」を始めています。これは、レクリエーションのサポートや清掃、食事準備など、介護の周辺業務に絞って、高校生のアルバイト募集をおこなう取り組みです。実際の現場では、育成担当者がつくことで、介護の知識やスキルが十分でなくても安心して働ける環境を整えています。

高校生アルバイトが周辺業務を担うことによって、経験や資格のあるスタッフは、介護業務に集中することができます。高校生にとっては、若い年齢から介護に携わることで、やりがいや社会的意義を肌で感じてもらうことで、「きつい、難しい、特殊」といった介護業界のイメージを払しょく。未来を担う介護人材を育てたいという狙いがあります。

すでに経験をした高校生からは、「人のために働く楽しさが介護にあると実感した」「とてもやりがいを感じている」との声が寄せられています。

ご参考：<https://www.recruitjobs.co.jp/voice/voice000879.html>



ニュースレター発行情報

お問い合わせ先

■株式会社リクルート（リクルートグループにおける介護サービスについて、リクルートジョブズの取り組みについて）
社外広報部 社外広報グループ

TEL：03-6835-9601 MAIL：press@r.recruit.co.jp

■株式会社リクルートキャリア（『HELPMAN JAPAN』、『就職 Shop』）

広報部 社外広報グループ

TEL: 03-3211-7117 MAIL:kouho@waku-2.com

■株式会社スタッフサービス・ホールディングス（スタッフサービス・メディカル）

広報部

TEL: 03-5209-7177 MAIL: ssg-pr@staffservice.ne.jp

サービス概要

『HELPMAN JAPAN』（株式会社リクルートキャリア）

事業内容：漫画『ヘルプマン！』とコラボレーションし、介護業界の就業人口を増やしていくことを目的に、介護業界の正しいイメージ発信と定着率アップのためのノウハウを提供。介護業界の可能性や魅力、新しい取り組み、インタビュー記事などさまざまな情報を発信しています。また、介護事業者の人事担当者や経営者向けに、先端事例や現場で実践できるノウハウを紹介することで、業界の変革を促します。2018年より、介護未経験者向け転職支援サービスをスタート。ご希望の方に専任アドバイザーが研修体制などが整った職場を紹介しています。

- 公式 HP: <http://helpmanjapan.com/>

- 「介護職非従事者の意識調査」:

<https://www.recruitcareer.co.jp/news/pressrelease/2019/190712-01/>

『就職 Shop』（株式会社リクルートキャリア）

事業内容：未経験から「正社員」を希望する若者に、「書類選考なし、人物本位選考」の求人をご紹介する来店型の就活支援サービスです。2006年4月のスタート以来、およそ11万人（※2020年1月時点）の若者と面談し、就職・転職をサポート。ご登録者の約9割は20代で、第二新卒・既卒の方やアルバイト・フリーター・契約社員、卒業を控えた新卒の方など、正社員経験がない方にも気軽にご利用いただいています。

- 設立年： 2006年4月

- 公式 HP: <https://www.ss-shop.jp/>

スタッフサービス・メディカル（株式会社スタッフサービス・ホールディングス）

全国 79 拠点を構え、業界トップクラスの 13.6 万人を超える幅広い職歴・スキルを持った人材が登録。介護・看護・医療の分野で働きたい人と働く機会を最も多くつなぎ続け、業界の従事者を増やしていくことを目指します。

- 事業内容：介護・看護・医療分野における人材派遣、紹介予定派遣、人材紹介
- 公式 HP：<https://www.staffservice-medical.jp/>
- フレンド数：7,257 人（2019 年 9 月末時点）

以上